

科目ナンバリング		U-LAS23 10002 SJ48									
授業科目名 <英訳>	中国語 I A (演習) C1201,C1202,C1203,C1204,C1205,C1206,C1207,C1208,C1209,C1210,C1211,C1212,C1213,C1214,C1215,C1216,C1217,C1218,C1219,C1220,C1221,C1222,C1223,C1224,C1225,C1226,C1227 Elementary Chinese A					担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授 劉 愛群 人間・環境学研究科 准教授 津守 陽 非常勤講師 黄 明月 人間・環境学研究科 教授 小野寺 史郎 非常勤講師 成 高雅 非常勤講師 姜 若冰 非常勤講師 王 桂紅 非常勤講師 張 黎 非常勤講師 林 淑美 非常勤講師 孫 文秀 非常勤講師 殷 文怡 人間・環境学研究科 教授 松江 崇 非常勤講師 許 燕華 人間・環境学研究科 准教授 二宮 美那子 人文科学研究所 助教 李 媛 非常勤講師 林 麗てい				
群	外国語科目群				分野(分類)					使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (外国語) (対面授業科目)				
開講年度・開講期	2025・前期		曜時限	月3/月4/火2/火3/火4/火5/水4/木1/木2/木3/木4/金2/金3/金5		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に発音練習、聞き取り練習を重視し、中国語の運用能力を伸ばしてゆくことを目的とする。文法の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。											
[到達目標]											
中国語の発音体系を十分に理解した上で、基本的な中国語の聞き取り能力と表現能力とを身につける。北京などを舞台としたスキットを題材としつつ、広く中国の文化に対する理解を深める。											
[授業計画と内容]											
この講義はフィードバック（方法は別途連絡する）を含む全15回で行う。 最初の3回の授業では、テキストの「発音編」に基づきながら、中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを習得する。 その後、テキストの「本文編」とその「練習問題」を利用しつつ、正確な発音や基本的な聞き取り能力の養成、表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第九課までを学びながら、特に、基本的な文章をきちんと発音し、また聞き取れるようになることをめざす。原則として1回の授業で本文編1課分を学習する。 なお、Web上にも教材や練習問題の音声を置き、履修生には24時間自由なアクセスを認め、その自学自習を支援する。 本授業は、所定の文法の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない。											
この授業だけの履修は原則として認められない。各回において学ぶ内容（発音事項・文法事項）は次のようである。授業では、これらの文法事項を用いた文や会話の聞き取りを行い、その内容に対											

する質問に中国語で答える練習をも行う。

- 第1回 発音編「中国語の音節構造」「声調」「韻母 其一 単母音」「声母 其一」
 第2回 発音編「韻母 其二 複合母音」「声母 其二」「韻母 其三 鼻音を伴う母音」「第3声の
 発音」
 第3回 発音編「簡単なフレーズ」「声調変化」「軽声」「儿化」
 第4回 第一課、「人称代詞」「動詞述語文」
 第5回 第二課、「連体修飾1 “名詞／代名詞＋的＋名詞”」「判断詞“是”“不是”」「副詞“都”
 “也”」
 第6回 第三課、「形容詞述語文」「指示代詞」「動詞“在”」
 第7回 第四課、「疑問代詞“shen me”」「助動詞“想”など」「副詞“就職”」「動詞“有”」
 「方位詞」
 第8回 第五課、「連動文」「時間詞1 “今天”など」「文末の語気助詞“ma”“ba”“ne”」「連
 体修飾2 “形容詞＋的＋名詞”」
 第9回 第六課、「選択疑問文」「比較表現」「疑問代詞“weishenme”“zenme”」
 第10回 第七課、「連体修飾3 “動詞句＋的＋名詞”」「進行表現」「“喜歡”＋動詞／名詞」
 第11回 第八課（前半）、「主述構造を目的語とする動詞」「“对…感興趣”」
 第12回 第八課（後半）、「副詞“一直”」「二重目的語」
 第13回 第九課（前半）、「時間詞2 年・月・日・曜日・時刻」「さまざまな“了”」
 第14回 第九課（後半）、「アスペクト助詞“過”」「動詞＋“一下”」
 《期末テスト》
 第15回 フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として定期試験80%、平常点20%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。
 中国語の正しい発音の修得、および基本的な語彙・文型の聞き取り能力とそれらを用いた表現能力
 の修得とが評価の基準となる。

[教科書]

道坂昭廣 他『中国語の世界—北京・2025—』（大地社）

[参考書等]

（参考書）

詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

Web上に教材や練習問題の音声を置く。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業前に発音・聞
 き取りの練習をしておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問
 題等の課題を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

最初の授業において紹介する。